Defi
Exciting Products by NS

Defi-Link Meter
ADVANCE ZD

デフィーリンクメーターアドバンスズィーディー取扱説明書
Defi-Link Meter ADVANCE ZD Operation Manual

DF09701

日本国内でご購入の場合は 2 ページから 52 ページをお読みください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お客様・取付業者様ともに、ご使用の前に本書を全て必ずお読みいただき、取付後も常にお手元に保管し、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承いただけますようお願い申し上げます。

※英語の部分は国内では無効です。

【Web サイト】http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

【電話番号】(03)3835-3639

【受付時間】10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日、祭日、当社休日を除く平日）

English section is from P.53 to P.107.

Thank you very much for purchasing our product. Before installing and using the product, please read this manual thoroughly. All sections are for customers and installation personnels. After installation, please keep this manual for future reference.

Defi will not be held responsible for accidents or damages related to installation of this product.

※ Japanese section is effective only in Japan.

【Web site】http://www.defi-shop.com/

もくじ　Contents

もくじ　Contents ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
❶安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】・ 2
❷特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
❸ラインナップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
❹仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
❺構成部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
❻各部名称・寸法（mm）・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
❼取付方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
❽使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
❾トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・・・ 47
❿補修パーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
⓫保守・点検・保証・アフターサービス・・・・・・・・・ 50
① Safety Warning 【Please read carefully.】・・・・・・ 53
② Product Features ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
③ List of Products ⊘ Optional Parts ・・・・・・・・・・ 60
④ Specification ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
⑤ Parts list ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
⑥ Part names/Dimensions in mm(inches)・・・・・・・・ 63
⑦ Installation ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
⑧ Operation・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
⑨ Troubleshooting・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
⑩ Repair parts ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
⑪ Maintenance & Check/Warranty & Servicing ・・・・・ 102

本製品は Defi-Link ADVANCE Control Unit（アドバンスコントロールユニット）と一緒に使用する製品です。本製品だけでは動作しません。本製品をご使用の際は必ず別売のアドバンスコントロールユニットをご購入頂き、取扱説明書も合わせてお読みください。

❶安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品をお取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、本製品（及び本製品の取り付けられている車）を他の人に貸し出したり譲渡する場合は、取扱説明書と保証書を必ずお渡しください。
なお、エンジンコンピュータ配線図は当社 Web サイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の 3 つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

⚠危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
⚠警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確　認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

⚠	⚠注意（警告を含む）をしなければならない記号です。
⃠禁止	⃠は、行為を禁止する記号です。（絶対にしてはいけない事です。）
❗強制	❗は、行為を指示する記号です。（必ず行って頂くことです。）

■取付作業をする前に（取り付け業者様へ）

⚠危険

❗作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になリ大変危険です。

❗配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス（－）ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となリ大変危険です。

⚠シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時（ネジの脱着など）は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となリ大変危険です。

❗配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかるところは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となリ大変危険です。

❗電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しかかっていないか確認してください。ショート事故による火災の原因となリ大変危険です。

❗電源配線時、IGN ハーネス接続ラインの車両側に 30A 以下のヒューズがあることを確認してください。 30A を超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となリ大変危険です。

❗ヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。

❗電源ハーネスのヒューズを交換する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となリ大変危険です。

⃠製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となリ大変危険です。

❗製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

⚠警告

❗取付箇所・取付方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けないでください。誤った取付箇所・取付方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。

⃠本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。

⃠エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。

❗必ず既存の配線に影響が出ないような配線を行ってください。また、車速・エンジン回転数信号配線の際は、最初にアドバンスコントロールユニットの電源配線を行い、イグニッションキーＯＮ時にアドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認の上、再度バッテリーのマイナス（－）端子を外し車速・エンジン回転数信号の配線作業を行ってください。車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。

⃠作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。

⃠乗員保護装置（エアバッグ等）の作動に影響を及ぼす場所に取り付けないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

⚠注意

❗12V 仕様車専用です。12V 車以外には取り付けないでください。

❗使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクター、新たに配線したものなどは必ず正しく組みつけ、固定してください。

⃠本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

⃠本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。

⃠本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。

⚠車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。

⚠ハーネスは点火信号や無線、HID ユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズはメーター誤動作の原因となります。

⚠アドバンスコントロールユニットに無線機や携帯電話等電波を発する機器が触れないように設置してください。誤動作の原因となります。

⃠ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。

⚠エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。

⚠センサーを取り付ける際は、センサー近くのハーネス部分を曲げないように

取り付けてください。

❗ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端面・尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。

⃠本製品は、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けないでください。

❗センサーは熱のこもらない場所、及び水のかからない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。

❗サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間に置くようにして製品が日陰になる様にしてください。

⚠清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸・アルカリ類は使用しないでください。

⃠コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。

⃠インストルメントパネルの助手席側及びセンターに本製品やメーター・アドバンスコントロールユニットを埋め込まないでください。車両の保安基準に適合しません。

確　認

❗取り付けは必ず本書に従ってください。

⚠バッテリーのマイナス（－）ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。

❗取付作業が終了しましたら、本取扱説明書、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。

❗純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。

❗電源配線前に、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクター側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。

⚠ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ離して本製品の配線、取り付けを行ってください。近付けたり、ハーネスを一緒に束ねたりするとテレビ表示（VHF）に影響を与える場合があります。

⚠取付作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■取り扱いに関して（お客様・取り付け業者様へ）

⚠警告

❗本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。

⃠本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。

⃠走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

⃠「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。

❗操作は車を停止して行ってください。

❗幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにインパネ等にしっかりと固定してください。

⃠タイムアタック計測はクローズドコース専用機能です。一般道では絶対に使用しないでください。

⚠注意

⚠本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⃠コード、特にコネクター部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクターを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。

確　認

⚠旧 Defi-Link システムとリンクさせることはできません。

❗製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

⚠対応気筒数は 1・2・3・4・5・6・8 気筒の 4 サイクルです。ディーゼル車には取り付けできません。

⚠電源・信号の配線については Web サイトの適用車種検索をご参照ください。

❗取付後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。

❷特長

・自社製高輝度・高精細 OLED 搭載
・アドバンスシステム（双方向通信) 採用
・本製品をリンクすることで ADVANCE BF は自動調光、ADVANCE CR は自動で照明の ON/OFF が可能に
・0-100km/h、0-200km/h のタイム計測機能搭載
・エンジン保護のため、ウォームアップモード搭載
・2 種類から選択可能なオープニングモードとエンディングモードで演出
・自己診断機能（センサーの断線・ショート、シリアル通信エラー）
・ワーニング値（任意) を設定、反転表示と同期してブザー音でも警告（ブザー音は ON/OFF の設定が可能)
・走行データ（走行中のピーク値、ワーニング値) を最大 3 分間記録し走行後に再生可能
・燃圧センサーとターボセンサーを接続することで燃圧計に差圧表示が可能
・4 種類から選択可能な表示モード（ゲージ表示で最大 6 項目同時表示可能）

ストリート表示

タイムアタック表示

ゲージ 1 表示

ゲージ 2 表示

・表示項目は、任意にレイアウト可能
・LED8 個によるシーケンシャルインジケーター機能
・時計機能、アラーム機能搭載
・取付角度の自由度アップ（当社従来品比)
・ODO、TRIP 表示機能
・油温、水温、排気温を 0℃から表示可能
・スペシャルモード搭載

❸ラインナップ

製品名	品番
デフィーリンクアドバンスズィーディー	DF09701

製品名	品番
デフィーリンクアドバンスコントロールユニット	DF07703

本製品の動作にはアドバンスコントロールユニットが必要です。
アドバンスコントロールユニット 1 台で本製品を含めメーター 7 台まで制御できます。

■オプションパーツ　AD ＝ ADVANCE System 専用

品名		品番
OP1	AD 油圧センサーセット	PDF08106SS
OP2	AD 燃圧センサーセット	PDF08205SS
OP3	AD 油温センサーセット	PDF08305SS
OP4	AD 水温センサーセット	PDF08405SS
OP5	AD 排気温センサーセット	PDF08505SS

❹仕様

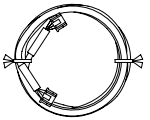
電源電圧	10V ～ 16V DC（12V 車専用 ）		
アドバンスユニット消費電流（メーターまたは ZD 合わせて 7 台接続時の最大値 ）	+B 線	2A（IGN ON 時 ） 5mA（IGN OFF 時 ）	
	ILM 線	800mA	
動作温度範囲	-20 ～ +60℃（湿度 80%以下 ）		
保存温度範囲	-30 ～ +80℃（湿度 80%以下 ）		
表示範囲	車速（SP）		0 ～ 400km/h（0 ～ 240MPH）
	エンジン回転数（TA）		0 ～ 11,000rpm
	OP1	油圧（OIL P.）	0 ～ 1,000kPa（0 ～ 145PSI）
	OP2	燃圧（FUEL P.）	0 ～ 600kPa（0 ～ 87PSI）
	OP3	油温（OIL T.）	0 ～ 150℃（32 ～ 302°F）
	OP4	水温（WATER T.）	0 ～ 150℃（32 ～ 302°F）
	OP5	排気温度（EXT. T.）	0 ～ 1,100℃（32 ～ 2,010°F）
	電圧（VOLT）		10 ～ 16V
	時計（CLOCK）		12H 表示
対応スピードパルス	2・4・8・16 パルス パルスフリー 1,274 ～ 16,562 パルス /km（2 ～ 26 パルス相当 ） （2,051 ～ 26,665 パルス / マイル ）		
対応気筒数	1･2･3･4･5･6･8 (4 サイクル)		
外形（mm）	各部名称・寸法参照		
総重量	400g（箱、取付台、ハーネス類、付属品を含む）		

※表示範囲中の OP1 ～ 5 を表示するためには、オプションパーツのセンサーセット OP1 ～ 5 が別途必要です。ただし、すでに ADVANCE メーターのセンサーを取り付けている場合は、そのセンサーセットを別途用意する必要はありません。
※本製品はターボ / インマニの表示はできません。

❺構成部品

ZD本体
1ヶ

車速・エンジン回転数
信号ハーネス(2m) 1ヶ



メーターハーネス(0.5m)
1ヶ

取付ステーセット
1ヶ

取付ステー付属品

取付ノブ

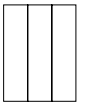
取付ステー

取付コマ

六角ボルト

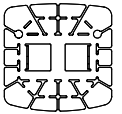
取付ステーに付属品がセットされた状態で入っています。

付属品



両面テープ
1ヶ

M4 ボルト&ナット、
ワッシャー 1ヶ

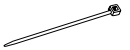


取付金
1ヶ

エレクトロタップ
2ヶ

モルトプレーン
1ヶ

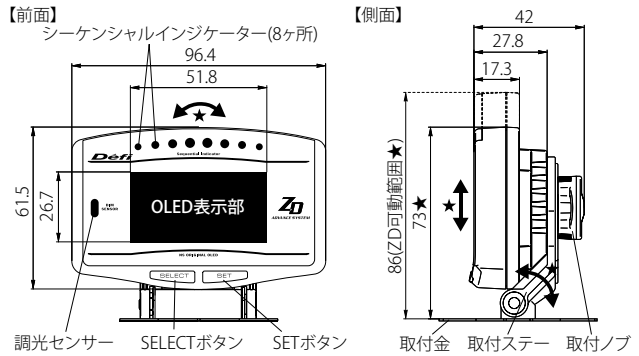
ピタック
2ヶ



タイラップ
2ヶ

上記以外に取扱説明書(本書)、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

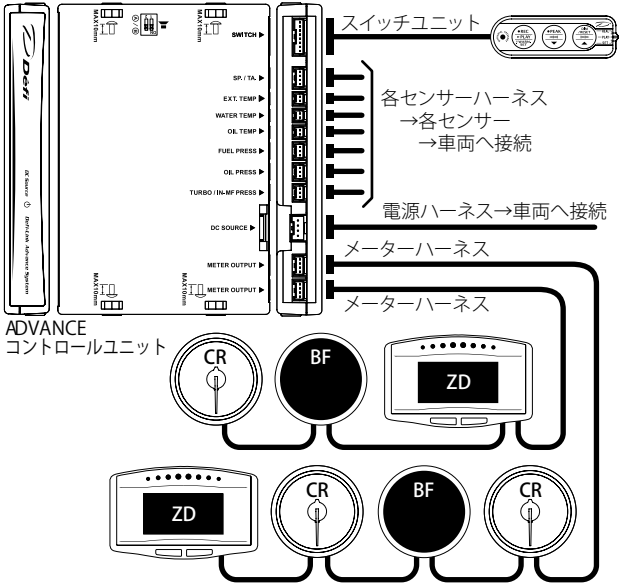
❻各部名称・寸法（mm）



★可動範囲
ZD本体は取付金に対して上下に可動、前後左右にも傾けることができます。可動範囲は取付方によって異なります。

■ボタンについて
本書では ZD の SELECT ボタンと SET ボタンを以下のように表記します。
左 SELECT　SET 右

■アドバンスシステム接続全体図



メーターハーネスは 2 箇所ある METER OUTPUT のコネクターのどちらにも接続できます。アドバンスコントロールユニット 1 台にメーターと ZD を合わせて 7 台まで接続可能です。また、それぞれのラインに振り分けて最大 7 台まで接続することも可能です (例：片方に 7 台つなぐともう一方は 0 台)。
※同一表示 (機種)のメーターは同時に接続できません (例：ターボ計を 2 台)。
ただし、ZD を複数台同時に接続することは可能です。

❼取付方法

❼ -1. 内容物の確認
内容物を確認します。
⇒❺ 構成部品参照

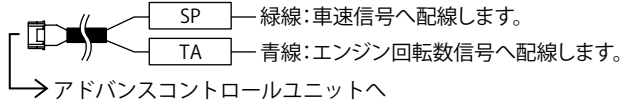
❼ -2. アドバンスコントロールユニット及びセンサーの取り付け
コントロールユニット、各センサー及びセンサーハーネスをそれぞれの取扱説明書に従い取り付けてください。
⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書の取付方法参照

❼ -3. 車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線
1. バッテリーのマイナスターミナルを外します。
2.Web サイトの適用車種検索を参照し、緑 (SP) を ECU の SP 信号に配線します。
3.Web サイトの適用車種検索を参照し、青 (TA) を ECU の TA 信号に配線します。
すでにアドバンスシリーズタコメーターのエンジン回転数信号線が配線してある場合は、そのハーネスの車速信号線のみを配線してください。
（本製品付属の車速・エンジン回転数信号ハーネスは使用しません。）
⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書のハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使用方法参照
4. 車速・エンジン回転数信号ハーネスをアドバンスコントロールユニットに接続します。（既に接続してある場合は接続不要です。）
5. バッテリーのマイナスターミナルを接続します。
6. 製品の取り付け・配線終了後に、本取扱説明書の使用方法に基づき車速パルス数及び気筒数、応答性を設定します。

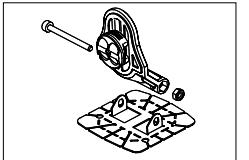
■車速・エンジン回転数信号ハーネスを配線する際の注意

⚠注意

❗SP 線、TA 線のいずれかを配線しない場合、使用しない線はどこにも配線せず、全て確実に絶縁処理してください。

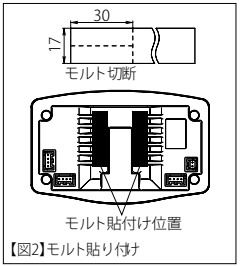


❼ -4.ZD 本体の取り付け及びメーターハーネスの配線
1. あらかじめ取付ステーのスリットに、取付コマと六角ボルトが通してあり、取付ノブが仮締めしてあります。


【図1】取付金と取付ステーを固定

2. 取付ステー下部の溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト・ナット・ワッシャーで締め付け、固定します。【図 1】

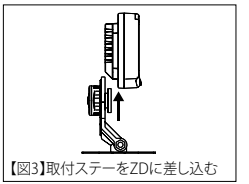
3. モルトプレーンを 30 × 8.5mm の大きさに切断し、ＺＤの背面 2 箇所に貼ります。【図 2】



【図2】モルト貼り付け

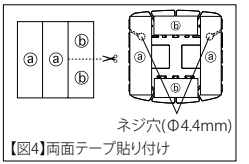
4. ＺＤにメーターハーネスを接続します。

5. ZD 背面の溝に取付コマを差し込み、取付ノブを締めて取付ステーに ZD を固定します。差し込みにくい場合は取付ノブを少し緩めてください。【図 3】


【図3】取付ステーをZDに差し込む

6. この状態で取り付けたい場所や、ZD の高さ、角度を検討します。取付金は取り付けたい場所の形状に合わせて曲げることができます。

7. 取付金の裏面に両面テープⓐとⓑを各 2 枚貼り付け、取り付けたい場所に貼り付けます。【図 4】



【図4】両面テープ貼り付け

8. 最後に各ボルト、取付ノブがしっかり締まっていることを確認してください。

9. アドバンスコントロールユニットの取扱説明書に従って取付最終確認をしてください。
⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書の取付方法参照

確　認

❗両面テープを貼る面は、市販のクリーナーを使って、ホコリ・汚れ、油分をよく拭き取ってください。

⚠両面テープでの固定が不十分な場合、取付金の穴を利用し、市販のタッピングネジ（太さ 4mm）等で固定してください。

7 -5. 各種設定・動作確認

コントロールユニットや本製品の操作、設定にはコントロールユニット付属のスイッチユニットと本製品本体のスイッチを使用します。本取扱説明書では、操作するスイッチに応じ、それぞれ以下のように表記しています。

コントロールユニット操作：**CU 操作**　ZD 操作：**ZD 操作**

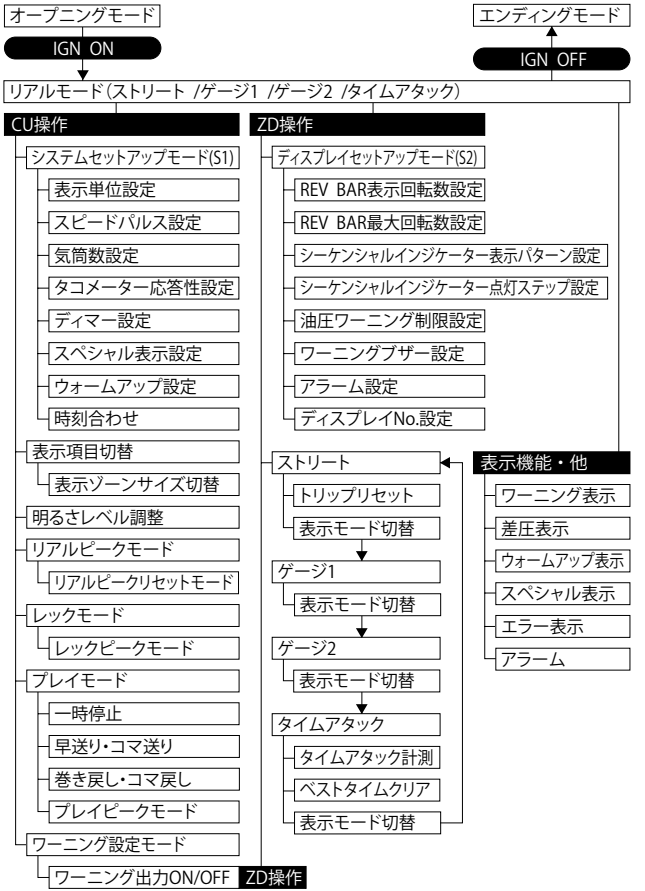
1. イグニッションを ON し、アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。
   ⇒アドバンスコントロールユニット取扱説明書の取付方法参照
2. オープニングモード（その後、ストリート表示）が行われることを確認してください。
   ⇒8 -5. オープニングモード、8 -6-2. リアルモード参照
3. デジタル表示でオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。
   ⇒8 -8. エラー表示参照
   ❗エラー表示が出ている場合
   →イグニッションを一旦 OFF にし、エラー表示が出ているセンサー及びセンサーハーネスをご確認ください。
4. システムセットアップモードでスピードパルス、気筒数設定、応答性等を設定してください。
   ⇒8 -2. システムセットアップモード参照
5. 各表示項目及びワーニング値を設定してください。
   ⇒8 -3. ディスプレイセットアップモード、8 -7. ワーニング設定モード参照
6. 本製品が正常に動作することを確認してください。確認ができたら設定は終わりです。

⚠ 警告

❗設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

8 使用方法　8 -1. 状態遷移図

Defi-Link ADVANCE System は、下図のようにシステム構成されています。



❽ -2. システムセットアップモード（S1）

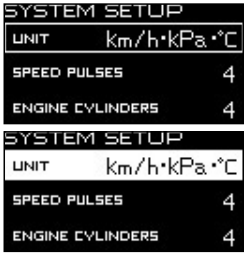
スピードパルス、気筒数、調光モード、時計設定等を行うモードです。ZD を取り付ける前に ADVANCE タコメーターを取り付けていて、すでに気筒数と応答性が設定されている場合は ZD の設定も変更されています。

⚠注意

❗設定は必ず行ってください。設定を行わないと正常に作動しません。
❗セットアップモードは車を停止した状態で行ってください。

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

1. スライドスイッチを下 SET に合わせます。
2. 左 ! WARN,SET ボタンを長押しすると セットアップモードに移行し、ZD に SYSTEM SET UP メニューを表示します。 最初は単位設定モードになります。
3. 中 ▼ または右 ▲ ボタンで 設定項目を選択し、設定したい項目で 左 ! WARN,SET ボタンを押してください。 文字が反転し設定変更可能になります。
4. 中 ▼ または右 ▲ ボタンで設定変更し、左 ! WARN,SET ボタンを押すと囲み枠になり、変更を確定します。
5. 全ての設定終了後、スライドスイッチを上 REAL または中 PLAY に戻してください。



設定項目	メニュー表示	初期値
表示単位設定	UNIT	km/h・kPa・℃
スピードパルス設定	SPEED PULSES	4
気筒数設定	ENGINE CYLINDERS	4
タコメーター応答性設定	TACHO RESPONSE	1：HIGH
ディマー設定	DIMMER	マニュアル
スペシャル表示設定	SPECIAL MODE	ON
ウォームアップ設定	WARM UP MODE	OFF
時刻合わせ	CLOCK	1:00（+B ON 時）

❽ -2-1. 表示単位設定 [UNIT]

中 ▼ または右 ▲ ボタンで UNIT にカーソルを合わせ左 ! WARN,SET ボタンを押します。中 ▼ または右 ▲ ボタンで [km/h・kPa・℃] と [MPH・PSI・°F] のどちらかを選択し、左 ! WARN,SET ボタンで決定します。

❽ -2-2. スピードパルス設定 [SPEED PULSES]

中 ▼ または右 ▲ ボタンで SPEED PULSES にカーソルを合わせ 左 ! WARN,SET ボタンを押します。
中 ▼ または右 ▲ ボタンでスピードパルスを選択し、左 ! WARN,SET ボタンで決定します。

2 ↔ 4 ↔ 8 ↔ 16 ↔ FREE

■スピードパルス数について
スピードパルス数は車種により異なります。国産車のほとんどが 4 パルスですが、日産車では 2 パルス設定、8 パルス設定の車両があります。Web サイトの適用車種検索にパルスの記載がある場合はそのパルス数に合わせて設定してください。また、いずれの設定を行っても純正メーター等と合わない場合は、FREE 設定で設定すると合わせることができる場合があります。

■パルスフリー設定
1. スピードパルスが 2･4･8･16 パルス以外の車種は、FREE を選択左 ! WARN,SET ボタンを押します。

2. パルスフリーでパルス設定を変更しない場合は、CURRENT VALUE を中 ▼ または右 ▲ ボタンで選択し、左 ! WARN,SET ボタンを押します。パルス設定を行う場合は NEW VALUE を中 ▼ または右 ▲ ボタンで選択し、左 ! WARN,SET ボタンを押します。

3. NEW VALUE を選択した場合、純正メーターの車速が 60km/h または 40MPH の時に 左 ! WARN, SET ボタンを押すと、スピードパルス設定が完了します。

4. スピードパルスが設定範囲内の場合はブザーが鳴り COMPLETED 表示します。
左 ! WARN, SET ボタンで決定します。
設定範囲外の場合は
INCOMPLETED 表示します。
左 ! WARN, SET ボタンを押し、セットアップ画面に戻ります。

※設定する際は、運転手以外の同乗している人が操作を行ってください。
※一部車種には対応できない場合があります。

8 -2-3. 気筒数設定 [ENGINE CYLINDERS]

中 ▼ または 右 ▲ ボタンで ENGINE CYLINDERS にカーソルを合わせ 左 ! WARN, SET ボタンを押します。中 ▼ または 右 ▲ ボタンで気筒数を選択し、左 ! WARN, SET ボタンで決定します。

1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6 ↔ 8

※ロータリーエンジンの 2 ローターは
4 気筒（RX-8 は 2 気筒設定)、
3 ローターは 6 気筒設定です。

8 -2-4. タコメーター応答性設定 [TACHO RESPONSE]

中 ▼ または 右 ▲ ボタンで TACHO RESPONSE にカーソルを合わせ 左 ! WARN, SET ボタンを押します。中 ▼ または 右 ▲ ボタンでタコメーター応答性レベルを選択し、左 ! WARN, SET ボタンで決定します。エンジン回転数表示の動きを見ながらお好みのレスポンスに設定してください。

1:HIGH ↔ 2:MIDDLE ↔ 3:LOW

8 -2-5. ディマー設定 [DIMMER]

調光を自動で行うか、手動で行うかを設定します。
中 ▼ または 右 ▲ ボタンで DIMMER にカーソルを合わせ 左 ! WARN, SET ボタンを押します。
中 ▼ または 右 ▲ ボタンで [AUTO] か [MANUAL] を選択し、左 ! WARN, SET ボタンで決定します。
AUTO を選択すると、周囲の明るさによって自動で表示の明るさを調整します。
リアルモード、レックモード中に 右 DIM/RESET ボタンで 3 段階＋ MAX 輝度固定（計 4 段階）の明るさレベル調整ができます。（周囲が暗い状態で調整すると分かりやすいです。）
MANUAL を選択すると、リアルモード、レックモード中に 右 DIM/RESET ボタンで 5 段階（夜間は 6 段階）の固定の明るさレベル調整ができます。
⇒8 -6-1. 表示の明るさレベルの調整参照

8 -2-6. スペシャル表示設定 [SPECIAL MODE]

中 ▼ または 右 ▲ ボタンで SPECIAL MODE にカーソルを合わせ 左 ! WARN, SET ボタンを押します。
中 ▼ または 右 ▲ ボタンで [ON] か [OFF] を選択し、左 ! WARN, SET ボタンで決定します。スペシャル表示設定を ON にすると、車速 0km/h（MPH) 入力が 10 秒続いた場合スペシャル表示になります。設定しない場合は、車速 0km/h（MPH) 入力が 10 秒続いても通常動作します。

8 -2-7. ウォームアップ設定 [WARM UP MODE]

中 ▼ または右 ▲ ボタンで WARM UP MODE にカーソルを合わせ 左 ! WARN,SET ボタンを押します。
中 ▼ または右 ▲ ボタンで水温または油温、OFF のいずれかを選択し 左 ! WARN,SET ボタンで決定します。

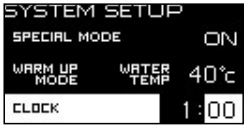
WATER TEMP ↔ OIL TEMP ↔ OFF

ウォームアップ設定で水温または油温を選択した場合は、ウォームアップ完了温度を中 ▼ または右 ▲ ボタンで設定します。
中 ▼ または右 ▲ ボタンを長押しすると数値が早送りになります。
左 ! WARN,SET ボタンで決定します。

8 -2-8. 時刻合わせ [CLOCK]

中 ▼ または右 ▲ ボタンで CLOCK にカーソルを合わせ左 ! WARN,SET ボタンを押します。中 ▼ または右 ▲ ボタンで「時」を合わせ、左 ! WARN,SET ボタンで決定します。

中 ▼ または右 ▲ ボタンで「分」を合わせ、左 ! WARN,SET ボタンで決定します。



ZD を複数台接続する場合の設定

※他の車両に装着していた ZD を追加で取り付ける場合は注意が必要です。
⇒8 -3-8. ディスプレイ No. 設定参照

ZD を複数台接続する場合、1 台がアクティブディスプレイとして設定されます。

■アクティブディスプレイの役割

アクティブディスプレイは、ディマー設定を AUTO に設定した時に、周囲の明るさを調光センサーでセンシングし、アドバンスシステムのそれぞれの機能に沿った照明を制御します。

システムセットアップの時は、アクティブディスプレイにのみ SYSTEM SETUP メニューが表示されます。

アクティブディスプレイ

アクティブディスプレイ以外

■アクティブディスプレイの確認及び変更方法

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

1. スライドスイッチを下 SET に合わせます。
2. 中 ▼ または右 ▲ ボタンを押すと ZD のマルチ表示ゾーン (Zone A5) に **ACTIVE** を表示し、アクティブディスプレイが切り替わります。
※ 1 台しか接続していない場合は **ACTIVE** は表示しません。

⇒マルチ表示ゾーンについては
8 -4. 表示項目切替参照

ボタンを押す度にアクティブディスプレイが切り替わります。

システムセットアップの下記メニューのみ、それぞれの ZD で変更が可能です。
8 -2-1. 表示単位設定 / 8 -2-6. スペシャル表示設定 / 8 -2-7. ウォームアップ設定

複数の ZD を接続している場合に8 -2-1. 8 -2-6. 8 -2-7. を設定変更するには、設定変更したい ZD をアクティブディスプレイに切り替えて行ってください。

8 -3. ディスプレイセットアップモード（S2)

ZD の表示設定を行うモードです。

⚠注意

❗ディスプレイセットアップモードは車を停止した状態で行ってください。

※スペシャル表示中は、左 SELECT ボタンまたは SET 右ボタンを一度押し、スペシャル表示を終了した状態で設定してください。

ZD 操作

1. リアルモード中に左 SELECT ボタンと SET 右ボタンを同時押しするとディスプレイセットアップモードに移行し、ZD に DISPLAY SET UP メニューを表示します。最初は REV BAR 表示回転数設定になります。
2. SET 右ボタンで設定項目を選択すると文字が反転し、左 SELECT ボタンを押すと設定変更できます。
3. 全ての設定終了後、左 SELECT ボタンと SET 右ボタンを同時押ししてください。リアルモードに戻ります。

設定項目	メニュー表示	初期値
REV BAR 表示回転数設定	REV BAR RANGE	3000RPM
REV BAR 最大回転数設定	REV BAR MAX SCALE	8000RPM
SEQ. インジケーター表示パターン設定	SEQ. IND. PATTERN	SINGLE
SEQ. インジケーター点灯ステップ設定	SEQ. IND. STEP	200RPM
油圧ワーニング制限設定	OIL PRESS WARNING LIMIT	3000RPM
ワーニングブザー設定	DISPLAY WARNING BUZZER	ON
アラーム設定	ALARM	OFF
ディスプレイ No. 設定	DISPLAY NO.	No.1

8 -3-1.REV BAR 表示回転数設定 [REV BAR RANGE]

デジタル表示で、エンジン回転数をバー表示する際の表示範囲（表示最大回転数と表示最低回転数との差) を設定します。

SET 右ボタンで REV BAR RANGE にカーソルを合わせます。
左 SELECT ボタンで [3000RPM] か [4000RPM] を選択します。

8 -3-2.REV BAR 最大回転数設定 [REV BAR MAX SCALE]

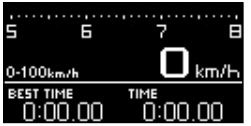
デジタル表示で、エンジン回転数をバー表示する際の最大回転数を設定します。

SET 右ボタンで REV BAR MAX SCALE にカーソルを合わせます。左 SELECT ボタンを押す毎に設定値を表示値 +500RPM します。REV BAR 表示回転数設定 3000RPM 時の REV BAR 最大回転数設定下限は 3000RPM、REV BAR 表示回転数設定 4000RPM 時の REV BAR 最大回転数設定下限は 4000RPM です。

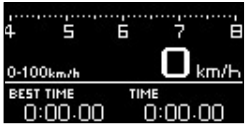
設定範囲：3000(4000)RPM → 11000RPM

< 例 >

REV BAR RANGE: 3000RPM
REV BAR MAX SCALE: 8000RPM
表示範囲 : 5000RPM ～ 8000RPM

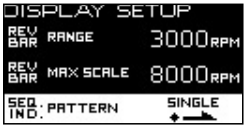


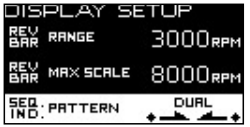
REV BAR RANGE: 4000RPM
REV BAR MAX SCALE: 8000RPM
表示範囲 : 4000RPM ～ 8000RPM



8 -3-3. シーケンシャルインジケーター表示パターン設定 [SEQ. IND. PATTERN]

SET 右ボタンで SEQ. IND. PATTERN にカーソルを合わせます。
左 SELECT ボタンで [SINGLE] か [DUAL] を選択します。





⇒8 -9. シーケンシャルインジケーター参照

8 -3-4. シーケンシャルインジケーター点灯ステップ設定 [SEQ. IND. STEP]

SET 右ボタンで SEQ. IND. STEP にカーソルを合わせます。左 SELECT ボタンを押し、点灯ステップを選択します。

点灯ステップ：
100RPM → 200RPM → 250RPM → 500RPM

⇒8 -9. シーケンシャルインジケーター参照

8 -3-5. 油圧ワーニング制限設定 [OIL PRESS WARNING LIMIT]

油圧ワーニング制限設定で設定したエンジン回転数未満の時に油圧のワーニング機能を停止します。※設定した ZD にのみ適用されます。

SET 右ボタンで OIL PRESS WARNING LIMIT に　カーソルを合わせます。

左 SELECT ボタンを押す毎に設定値を表示値 +500RPM します。

設定範囲：0RPM → 11000RPM

8 -3-6. ワーニングブザー設定 [DISPLAY WARNING BUZZER]

ワーニング時に ZD のブザーを鳴らすかどうかの設定をします。

プレイモードでは、ワーニングブザー設定が ON でもブザーは鳴りません。(表示は反転します。)

SET 右ボタンで DISPLAY WARNING BUZZER にカーソルを合わせます。

左 SELECT ボタンで [ON] か [OFF] を選択します。

※コントロールユニットのブザーは連動しません。コントロールユニットの取扱説明書を参照して設定してください。ワーニングブザー設定は、コントロールユニットを OFF、ZD を ON にすることを推奨します。

※ワーニング時のブザー ON/OFF は設定可能ですが、ボタン操作時のブザーは OFF できません。

8 -3-7. アラーム設定 [ALARM]

設定した時刻にアラームを鳴らします。

(設定した時刻にイグニッションキーが ON になっていないとアラームは鳴りません。)

SET 右ボタンで ALARM にカーソルを合わせます。

左 SELECT ボタンで [ON] か [OFF] を選択します。

ALARM OFF の場合、SET 右ボタンで確定します。

ALARM ON の場合、SET 右ボタンを押してから時分を設定します。

左 SELECT ボタンを押し、**「時」**を合わせます。長押しで早送りになります。

SET 右ボタンを押して**「時」**を確定し、

左 SELECT ボタンを押し、**「分」**を合わせます。長押しで早送りになります。

SET 右ボタンで**「分」**を確定します。

8 -3-8. ディスプレイ No. 設定 [DISPLAY NO.]

SET 右ボタンで DISPLAY NO. にカーソルを合わせます。

左 SELECT ボタンでディスプレイ No. を設定します。

※通常の設置では、自動で設定されるため、初期値を変更する必要はありません。他の車両に装着していた ZD を取り外して別の ZD 装着済みの車両に追加する場合や、同時に新品の ZD を複数台取り付ける場合は、複数台の ZD が同じディスプレイ No. にならないように変更してください。

同じディスプレイ No. の ZD を
複数台リンクした場合、正常動作しません。

ディスプレイ No. を変更した場合はイグニッションキーを一度 OFF し、再度 ON してください。

8 -4. 表示項目切替

ZD には 4 つの表示モード（ストリート、ゲージ 1、ゲージ 2、タイムアタック）があり、それぞれの表示モードにおいて、表示項目の位置、サイズを変更できます。（初期設定ではオープニングモード終了後ストリート表示になります。）

⇒表示モードについては 8 -6-2. リアルモード参照

また、表示モードによって表示項目を変更できる位置（ゾーン）とサイズが限定されます。

⇒変更可能ゾーンについては、8 -6-2-5. 8 -6-2-6. 8 -6-2-7. 参照

表示部分を 6 つのゾーンに分割し（Zone A)、下図のように各ゾーンのサイズを変更することができます（Zone B、C)。

<table>
<tr><td>Zone A1</td><td>Zone A2</td></tr>
<tr><td>Zone A3</td><td>Zone A4</td></tr>
<tr><td>Zone A5</td><td>Zone A6</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">Zone B1</td></tr>
<tr><td colspan="2">Zone B2</td></tr>
<tr><td>Zone A5</td><td>Zone A6</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">Zone C1</td><td rowspan="2">Zone C2</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td>Zone A5</td><td>Zone A6</td></tr>
</table>

表示可能項目

■ Zone A：基本表示形

車速 ↔ 油圧 ↔ 燃圧 ↔ 油温 ↔ 水温
↕ ↕
表示なし ↔ 時計 ↔ 電圧 ↔ 排気温度

■ Zone B：拡大表示及びエンジン回転数バー表示

車速 ↔ 回転数(デジタル) ↔ 回転数(バ ー) ↔ 油圧 ↔ 燃圧
↕ ↕
表示なし ↔ 時計 ↔ 電圧 ↔ 排気温度 ↔ 水温 ↔ 油温

■ Zone C：グラフ表示

（ワーニング設定値に対して -15 ～ +5℃ (°F) でグラフ表示＋基本表示＋ワーニング設定値表示）

油温 ↔ 水温 ↔ 表示なし

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

1. スライドスイッチを下 SET に合わせます。
2. 中 ▼ と右 ▲ ボタンを同時押しすると Zone1 が市松模様になり表示項目が変更可能になります。
3. 中 ▼ ボタンで変更ゾーンを指定します。
4. 右 ▲ ボタンを押しゾーン A、B、C の切り替えをします。

Zone A1 → B1 → C1　Zone A3 → B2　Zone A2 → C2

⇒変更可能ゾーンについては、8 -6-2-5. 8 -6-2-6. 8 -6-2-7. 参照

左 ! WARN.SET ボタンを押しサイズを確定すると、そのゾーンが反転し表示項目選択が可能になります。

5. 中 ▼ または右 ▲ ボタンで表示項目を変更し、左 ! WARN.SET ボタンを押して変更を確定します。
6. 全ての設定終了後、スライドスイッチを上 REAL または中 PLAY に戻してください。

※ Zone A5 はマルチ表示ゾーンです。表示項目を設定しても、モード表示、調光レベル変更時に一時的に表示が切り替わります。また、ワーニング発生時のワーニングメッセージ等に自動的に切り替わります。常に表示させたい項目の表示位置には使用しないでください。

8 -5. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとオープニングモードを行います。また、全ての状態において、イグニッションを OFF するとエンディングモードを行い、モード終了後にアドバンスコントロールユニットと ZD の電源が切れます。

確　認

⚠車両によってはキーを OFF にしてもイグニッションがすぐに OFF にならない場合があります。その場合は、車両のイグニッションが OFF になるまでエンディングモードは行われません。

■オープニング・エンディングモードの変更について

アドバンスコントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切替用のディップスイッチ 2 をスライドさせることでオープニング・エンディングモードをAタイプ・Bタイプの2種類から選ぶことができます。(他にメーターを取り付けている場合は、他のメーターのオープニング・エンディングモードも切り替わります。) モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。A タイプ・B タイプともにデジタル表示以外にシーケンシャルインジケーター点灯などによる演出があります。切り替えて実際の演出をご確認ください。

8 -6. 各動作モード

⚠警告

⃠走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

❗操作は車を停止して行ってください。

8 -6-1. 表示の明るさレベルの調整

CU 操作（スライドスイッチ位置：**上 REAL**）

リアルモード中、及びレックモード中にコントロールユニットの**右 DIM/RESET**ボタンでディスプレイの明るさを変更することができます。

システムセットアップモードのディマー設定で AUTO、MANUAL を選択できます。

⇒8 -2-5. ディマー設定 [DIMMER] 参照

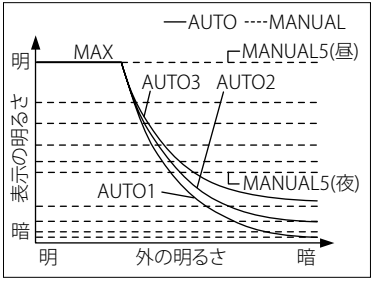
AUTO：3 段階の自動明るさレベルと MAX 輝度固定の 4 段階
（車両のイルミスイッチには連動はしません）

MANUAL：車両のイルミスイッチに連動して昼夜各 5 段階
（夜間は MAX 輝度固定の 6 段階）

初期設定は、MANUAL：ILM. LEVEL5、AUTO：ILM. LEVEL3 です。

ZD と接続しディマー設定を AUTO にすることにより、次表のように ADVANCE CR、ADVANCE BF の照明も自動で制御されます。

	AUTO	MANUAL
ZD OLED 表示	自動調光	車両イルミ連動(昼夜各5段階)
ZD シーケンシャルインジーケーター	自動切替 (昼夜各 1 段階)	車両イルミ連動(昼夜各1段階)
ZD スイッチ照明	自動切替 (点灯 / 消灯)	車両イルミ連動 (点灯 / 消灯)
ユニットスイッチ照明	自動切替 (点灯 / 消灯)	車両イルミ連動 (点灯 / 消灯)
ADVANCE CR 照明	自動切替 (点灯 / 消灯)	車両イルミ連動 (点灯 / 消灯)
ADVANCE BF 照明	自動調光	車両イルミ連動(昼夜各5段階)



明るさレベル変更時、マルチ表示ゾーン（Zone A5) に 0.5 秒間明るさレベルを表示します。

8 -6-2. リアルモード

オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

ZD 操作

リアルモードには 4 種類の表示モードがあり、左 SELECT ボタンを押す毎に表示モードの切り替えができます。初期設定は、ストリートです。

ストリート → ゲージ 1 → ゲージ 2 → タイムアタック

ストリート

ゲージ 1

ゲージ 2

タイムアタック

8 -6-2-1. ワーニング表示

設定したワーニング値以上でデジタル表示内の当該表示が反転します。(ゾーン C の場合は、ワーニング設定値が反転表示します。) ワーニング状態が 5 秒未満でも反転表示は最低 5 秒間続きます。油圧・燃圧は設定したワーニング値以下で表示が反転します。このとき、ワーニングブザー設定を ON にしている場合はワーニングブザーが鳴ります。
回転数（デジタル）、回転数（バー）はワーニング値以上になっても反転表示しません。車速、電圧にワーニング機能はありません。
ワーニングブザーは、コントロールユニット、ZD それぞれにあり、個別に ON/OFF できます。また、ZD のワーニング出力が ON の場合は、別売のアドバンスインジケーターを ZD に接続することにより、インジケーターが点灯します。

⇒ワーニング設定方法については、8 -7. ワーニング設定モード参照

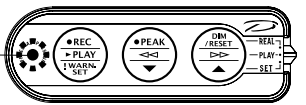
8 -6-2-2. 差圧表示

ターボセンサーと燃圧センサーを取り付けている場合、燃圧表示ゾーンで燃圧とインテークマニホールド圧の差を表示することが可能です。ピークモード中は差圧表示できません。

CU 操作 （スライドスイッチ位置：上 REAL）

1. スライドスイッチを上 REAL に合わせます。
2. 中 ▼ と右 ▲ ボタンを同時押しすると差圧表示になります。再度中 ▼ と右 ▲ ボタンを同時押しすると差圧表示を終了します。差圧表示中はスイッチユニットの差圧インジケーター（青色）が点灯します。

差圧インジケーター



8 -6-2-3. ウォームアップ表示

システムセットアップモードでウォームアップが水温または油温に設定してあり、実温度が設定温度より低い場合は、ウォームアップ表示を行います。
ウォームアップ中は、ウォームアップ設定項目（水温または油温）が 1 秒に 1 回点滅します。
実温度が設定温度以上になるとウォームアップ表示の点滅を終了します。
※ウォームアップ中は、スペシャル表示が ON に設定してある場合でもスペシャル表示はしません。

8 -6-2-4. スペシャル表示

システムセットアップモードでスペシャル表示が ON に設定してあり、車速 0km/h（0MPH) が 10 秒以上続いた場合は、スペシャル表示を行います。
スペシャル表示中は、センサー接続情報、時計表示及びアイドリング時間表示を行います。
アイドリング時間のカウントは、エンジン停止中は行いません。

下記の場合は、スペシャル表示を終了し、通常表示に戻ります。
- スピードパルス入力があった場合
- 左 SELECT または SET 右 ボタンを押した場合
- ユニット操作でモード変更した場合

なお、下記の場合は、スペシャル表示が ON 設定でもスペシャル表示を行いません。
- ウォームアップ中
- ワーニングが発生している場合
- センサーがオープンまたはショートしている場合
- アラーム中
- タイムアタックモード
- タイムアタック計測中

※スペシャル表示中に 左 SELECT または SET 右 ボタンを押した場合及びユニット操作でモード変更した場合は、スペシャル表示を終了しますが、車速入力が無い状態が続けば、アイドリング時間は継続してカウントし、10 秒経過後スペシャル表示時に累積した時間を表示します。

8 -6-2-5. ストリート

車速、ODO、TRIP を常に表示します。
※車速、ODO、TRIP は参考値です。車速設定に誤差が生じると、車速だけでなく ODO、TRIP の誤差が累積します。
■初期表示設定

時計	水温
車速	
ODO	TRIP

表示項目のセンサーが接続されていない場合は、×を表示します。

■表示項目切替可能ゾーン

Zone A1	Zone A2
車速	
ODO	TRIP

表示変更可能ゾーンは Zone A1 と Zone A2 です。

⇒表示の変更については、8 -4. 表示項目切替参照

■トリップリセット

ZD 操作

ストリート表示中に SET 右 ボタンを長押しするとトリップ値をリセットできます。
※ ODO はリセットできません。

8 -6-2-6. ゲージ 1、ゲージ 2

全てのゾーンで表示項目の変更が可能です。ゲージ 1 とゲージ 2 で 2 種類のレイアウトができます。（ODO、TRIP は表示できません。）

■初期表示設定

ゲージ 1

回転数（デジタル）	
水温	油温
車速	油圧

ゲージ 2

油温	水温
時計	車速

表示項目のセンサーが接続されていない場合は、×を表示します。

■表示項目切替可能ゾーン

Zone A1	Zone A2
Zone A3	Zone A4
Zone A5	Zone A6

表示変更可能ゾーンは
Zone A1 ～ Zone A6 です。

⇒表示の変更については、8 -4. 表示項目切替参照

8 -6-2-7. タイムアタック

リアルモード時、0-100km/h（0-60MPH) または 0-200km/h（0-100MPH) のタイム計測が可能です。

⚠警告 ⃠タイムアタック計測はクローズドコース専用機能です。一般道では絶対に使用しないでください。

■初期表示設定

回転数（バー）	
車速	
BEST TIME	TIME

表示項目のセンサーが
接続されていない場合は、
×を表示します。

■表示項目切替可能ゾーン

Zone A1	Zone A2
車速	
BEST TIME	TIME

表示変更可能ゾーンは
Zone A1 と Zone A2 です。

⇒表示の変更については、8 -4. 表示項目切替参照

■タイムアタック設定

(0-100km/h（0-60MPH) と 0-200km/h（0-100MPH) の切り替え)

ZD 操作

1. 左 SELECT 右ボタンを押すとタイムアタックメニューに遷移します。
2. 左 SELECT ボタンを押し、SET UP 表示が反転した状態で SET 右ボタンを押します。
3. SELECT 0-100 km/h（0-60MPH) または、SELECT 0-200 km/h (0-100MPH) が反転している状態で SET 右ボタンを押す度に切り替わります。

4. 左 SELECT ボタンで確定します。
5. 左 SELECT ボタンを押し、RETURN を反転表示させてから SET 右ボタンを押しタイムアタックメニューに戻ります。
6. 左 SELECT ボタンを押し、RETURN を反転表示させてから SET 右ボタンを押すとタイムアタック表示に戻ります。

■タイムアタック計測

ZD 操作

1. SET 右ボタンを押すとタイムアタックメニューに遷移します。
2. タイムアタックメニューで START が反転している状態で SET 右ボタンを押すと 0:00.00 の状態でタイムアタックモード表示（0-100km/h（0-60MPH) または 0-200km/h（0-100MPH)) が点滅し、車速入力待ち状態となります。走行状態で SET 右ボタンを押した場合（スタートした場合)、車速が 0 になってから、再度車速が入るまでカウントは開始しません。カウント開始時にブザーがピピッと鳴ります。
3. 0-100 km/h（0-60MPH) 計測時は 100km/h（60MPH) 到達時点、0-200 km/h (0-100MPH) 計測時は 200km/h（100MPH) 到達時点で計測を終了します。計測終了時にベストタイムを更新していない場合は、タイム時間表示が点滅します。ベストタイムを更新している場合は、ベストタイム時間表示が点滅し、ブザーがピピピッと鳴ります。

※タイムアタック計測中にキャンセルする場合は、SET 右ボタンを押してください。

※ 0-200 km/h（0-100MPH) 計測中に 100km/h（60MPH) 到達時点のベストタイムを更新していた場合は、0-100 km/h（0-60MPH) のベストタイムが更新されます。

■ベストタイムのクリア

ZD 操作

1. SET 右ボタンを押すとタイムアタックメニューに遷移します。
2. 左 SELECT ボタンを押し、SET UP 表示が反転した状態で SET 右 ボタンを押します。
3. 左 SELECT ボタンを押し、クリアしたいベストタイムを反転させます。
4. SET 右ボタンを押しベストタイムをクリアします。クリアするとベストタイム表示は、0:00.00 になります。
5. 左 SELECT ボタンを押し、RETURN を反転表示させてから SET 右 ボタンを押しタイムアタックメニューに戻ります。
6. 左 SELECT ボタンを押し、RETURN を反転表示させてから SET 右 ボタンを押すとタイムアタック表示に戻ります。

8 -6-3. リアルピークモード

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリアルモード中に表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切替表示します。リセットするとその時点からのピーク値を表示します。差圧表示をしている場合でも、燃圧計には燃圧のピーク値が表示されます。ピークモード中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に▲ PEAK を表示します。

CU 操作（スライドスイッチ位置：上 REAL）

油圧・燃圧センサーを接続していない場合

1. スライドスイッチを上 REAL に合わせます。
2. 中●PEAK ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。
3. 再度中●PEAK ボタンを押すとリアルモードに戻ります。

油圧・燃圧センサーを接続している場合

1. スライドスイッチを上 REAL に合わせます。
2. 中●PEAK ボタンを押すとリアルピークモード (ハイピーク) に移行し最大値が表示されます。
3. ハイピーク表示中に中●PEAK ボタンを押すとリアルピークモード (ローピーク) に移行します。油圧および燃圧は最小値、それ以外は最大値が表示されます。
4. 再度中●PEAK ボタンを押すとリアルモードに戻ります。

8 -6-4. リアルピークリセットモード

それまでの走行・アイドリング時の最大値 (油圧・燃圧は最大値と最小値) をリセットするモードです。ピークリセットモード中は、マルチ表示ゾーン(Zone A5) に 1 秒間 **PEAK RESET** を表示します。

CU 操作（スライドスイッチ位置：上 REAL）

1. スライドスイッチを上 REAL に合わせます。
2. 中●PEAK ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。
3. リアルピークモード中に右 DIM/RESET ボタンを押すとピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。

※ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

8 -6-5. レックモード

各メーターの走行データを最大 3 分間記録するモードです。レックモード中は、マルチ表示ゾーン(Zone A5) に● **REC** 及び記録時間を表示します。

CU 操作（スライドスイッチ位置：上 REAL）

1. スライドスイッチを上 REAL に合わせます。
2. 左●REC ボタンを押すとレックモードに移行し、記録を開始します。
3. 再度左●REC ボタンを押すと記録を終了し、リアルモードに戻ります。または記録開始から 3 分経過するとリアルモードに戻ります。

8 -6-6. レックピークモード

記録を開始した時点からの最大値をレック中に表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切替表示します。差圧表示をしている場合でも、燃圧表示ゾーンには燃圧のピーク値が表示されます。レックピークモード中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に●▲ **REC PEAK** を表示します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：上 REAL)

油圧・燃圧センサーを接続していない場合

1. レックモード中に中●PEAKボタンを押すとレックピークモードに移行します。
2. 再度中●PEAKボタンを押すとレックモードに戻ります。また、左●RECボタンを押すとリアルモードに戻ります。記録開始から 3 分経過するとリアルモードに戻ります。

油圧・燃圧センサーを接続している場合

1. レックモード中に中●PEAKボタンを押すとレックピークモード (ハイピーク) に移行し最大値が表示されます。
2. ハイピーク表示中に中●PEAKボタンを押すとレックピークモード (ローピーク) に移行します。油圧および燃圧は最小値、それ以外は最大値が表示されます。
3. 再度中●PEAKボタンを押すとレックモードに戻ります。また、左●RECボタンを押すとリアルモードに戻ります。記録開始から 3 分経過するとリアルモードに戻ります。

8 -6-7. プレイモード

記録されているデータを再生するモードです。一時停止、コマ送り、早送り、巻き戻し等も可能です。プレイモード中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に▶ **PLAY** と再生時間を表示します。

CU 操作 (スライドスイッチ位置：中 PLAY)

1. スライドスイッチを中 PLAYに合わせます。
2. 左▶PLAYボタンを押すとプレイモードに移行し、記録されているデータを再生します。
3. 再生中に左▶PLAYボタンを押すと再生を終了し、リアルモードに戻ります。または記録データの再生が終了するとリアルモードに戻ります。

8 -6-7-1. 再生中の操作方法

■一時停止

再生中に中 ◁◁ボタンまたは右 ▷▷ボタンを押すと一時停止します。一時停止中に左▶PLAYボタンを押すと再生に戻ります。一時停止中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に **II PAUSE** を表示します。

■早送り、コマ送り

一時停止中に右 ▷▷ボタンを押すとコマ送り、右 ▷▷ボタンを長押しすると早送りになります。

コマ送り中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に **II PAUSE** を表示し、早送り中は▶▶ **PLAY** を表示します。

■巻き戻し、コマ戻し

一時停止中に中 ◁◁ボタンを押すとコマ戻し、中 ◁◁ボタンを長押しすると巻き戻しになります。

コマ戻し中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に **II PAUSE** を表示し、巻き戻し中は◀◀ **PLAY** を表示します。

※コマ送り、コマ戻しは、0.02 秒ステップです。

8 -6-8. プレイピークモード

レック中に記録されたデータの中の最大値をプレイ中に表示するモードです。油圧、燃圧は最大値と最小値を切替表示します。プレイピークモード中は、マルチ表示ゾーン (Zone A5) に▶▲ **PLAY PEAK** を表示します。

プレイピークモード中もデータ再生は進んでいます。

CU 操作（スライドスイッチ位置：中 PLAY〉→上 REAL〉）

油圧・燃圧センサーを接続していない場合

1. スライドスイッチを中 PLAY〉に合わせます。
2. 左►PLAY〉ボタンを押すとプレイモードに移行し、データを再生します。
3. 再生中にスライドスイッチを上 REAL〉に合わせます。（一時停止中でも可）
4. 中●PEAK〉ボタンを押すと記録データ中のピーク値を表示します。（一時停止中でも可）
5. 再度中●PEAK〉ボタンを押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチを中 PLAY〉に合わせ、左►PLAY〉ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

油圧・燃圧センサーを接続している場合

1. スライドスイッチを中 PLAY〉に合わせます。
2. 左►PLAY〉ボタンを押すとプレイモードに移行し、データを再生します。
3. 再生中にスライドスイッチを上 REAL〉に合わせます。（一時停止中でも可）
4. 中●PEAK〉ボタンを押すと記録データ中の最大値を表示します。（一時停止中でも可）
5. 中●PEAK〉ボタンを押すと油圧および燃圧は記録データ中の最小値、それ以外は最大値を表示します。（一時停止中でも可）
6. 再度中●PEAK〉ボタンを押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチを中 PLAY〉に合わせ、左►PLAY〉ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

■リアルピーク・レックピーク・プレイピークの違い

	リアルピーク	レックピーク	プレイピーク
表示されるモード	リアルモード	レックモード	プレイモード
表示値	全モードのピーク値	レックモードで記録された データ中のピーク値	
ピーク値の更新	全モード中	レックモード中	
ピークリセット	リアルピーク モード中に操作	レック開始時に オートリセットされる	

8 -7. ワーニング設定モード

任意のワーニング値が設定できます。
※車速、電圧にワーニング機能はありません。

⇒ワーニング表示については、8 -6-2-1. ワーニング表示参照

■ワーニング初期値一覧

メーター	ワーニング初期値	単位	設定範囲		ワーニング条件	ワーニング出力
			最小値	最大値		
ターボ／インマニ	100	kPa	-100	200	設定値以上	ON
	14.5	PSI	-14.5	29		
タコメーター	7000	RPM	300	11000	設定値以上	ON
油圧	120	kPa	0	1000	設定値以下	ON
	17.5	PSI	0	145		
燃圧	150	kPa	0	600	設定値以下	ON
	21.8	PSI	0	87		
油温	125	℃	0	150	設定値以上	ON
	257	°F	32	302		
水温	105	℃	0	150	設定値以上	ON
	221	°F	32	302		
排気温度	850	℃	0	1100	設定値以上	ON
	1562	°F	32	2010		

※車の種類やコンディションによってはワーニング初期値以下（油圧・燃圧は初期値以上）でも車両にダメージが加わる場合がありますので、取り付け時にお店に相談し、設定値を検討してください。

※ターボ / インマニ表示に関して

ZD にターボ / インマニの表示はできませんが、ターボセンサーを取り付けている場合、ターボ / インマニのワーニング設定が可能です。また、ワーニングブザー設定 ON、ワーニング出力設定 ON の場合、吸気圧がワーニング設定値以上になるとワーニングブザーが鳴り、ワーニング出力されますが、**ZD のディスプレイにワーニング表示はされません**。

8 -7-1. ワーニング値の設定変更

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

1. スライドスイッチを 下 SET に合わせます。
2. 左 ! WARN.SET ボタンを押すとワーニング設定モードに移行します。
3. 左 ! WARN.SET ボタンを押して設定する項目を選択します。選択されている項目は文字が反転し、現在の設定値を表示します。接続されていないセンサーは選択されません。選択される順番は以下の通りです。

ターボ/ インマニ → タコメーター → 油圧
↑ ↓
排気温度 ← 水温 ← 油温 ← 燃圧

※ ADVANCE BF Φ 80 タコメーターを接続している場合は、タコメーターのワーニングが 2 段階設定になります。

4. 設定したい項目が選択された状態で、中 ▼ ボタンを押すと設定値が下がり、右 ▲ ボタンを押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が早く変わります。
5. 全ての設定終了後、スライドスイッチを上 REAL または中 PLAY に戻してください。

8 -7-2. ワーニング出力 ON/OFF の設定

ZD に ADVANCE インジケーター（別売）を接続し、それぞれのワーニング出力を ON にすると、ON に設定した項目がワーニングになった時に ADVANCE インジケーターが点灯します。ワーニング出力 ON/OFF に関わらず、ワーニングになった項目は反転表示し、ブザー設定を ON にしている場合はブザーが鳴ります。

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

1. スライドスイッチを 下 SET に合わせます。
2. 左 ! WARN.SET ボタンを押すとワーニング設定モードに移行します。
3. ワーニング設定モードでワーニング出力 ON/OFF を変更したい項目を選択します。

ZD 操作

4. SET 右 ボタンを押す度に **IND. OUT** □のチェック有り無しが切り替わり、チェックが入っている場合は、そのいずれかの項目がワーニングになった時にワーニング出力します。

CU 操作（スライドスイッチ位置：下 SET）

5. 設定終了後、スライドスイッチを上 REAL または中 PLAY に戻してください。

8 -8. エラー表示

センサーがオープン、またはショートしている場合は、該当する表示項目が反転し OPEN または SHORT を表示します。一度、OPEN か SHORT の表示が出るとイグニッションを OFF にするまで表示が続きます。油圧および燃圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。

接続してあり表示されていない項目のセンサーでオープン、またはショートした場合はマルチ表示ゾーン（Zone A5）に OPEN または SHORT 項目を反転表示します。

表示されていない項目でオープン、またはショートが複数発生した場合は、マルチ表示ゾーン（Zone A5）に OPEN または SHORT を 2 秒ずつ切替表示します。

ZD とユニット間で通信ができなくなった場合は、Serial line error!! を表示します。

❗エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサーや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。

8 -9. シーケンシャルインジケーター

エンジン回転数に応じて 8 個の赤 LED が点灯・点滅します。
[SINGLE] と [DUAL] の 2 通りの点灯方法が選択可能です。
表示パターンと点灯ステップはディスプレイセットアップモードで設定します。
⇒8 -3. ディスプレイセットアップモード（S2) 参照

■ LED 点灯開始回転数
[SINGLE] ＝（エンジン回転数のワーニング設定値) －（点灯ステップ) × 8
[DUAL] ＝（エンジン回転数のワーニング設定値) －（点灯ステップ) × 4

■全 LED 点灯回転数
[SINGLE] ＝ [DUAL] ＝(エンジン回転数のワーニング設定値) －(点灯ステップ)

■全 LED 点滅回転数
エンジン回転数のワーニング設定値以上
ディマー設定が AUTO の場合は周囲の明るさに応じて、MANUAL の場合はイルミに連動して一段減光します。
< 動作例 > ワーニング設定値：8000RPM 点灯ステップ：100RPM

[SINGLE]

LED（左から）	1	2	3	4	5	6	7	8	点滅
点灯回転数（RPM)	7200	7300	7400	7500	7600	7700	7800	7900	8000

[DUAL]

LED（左から）	1	2	3	4	5	6	7	8	点滅
点灯回転数（RPM)	7600	7700	7800	7900	7900	7800	7700	7600	8000

※ ADVANCE BF Φ 80 タコメーターを接続している場合は、2 段階のワーニング設定のうち、高い設定値が点灯・点滅の基準となります。

8 -10. アラーム機能

設定した時刻になったことを、ブザーとシーケンシャルインジケーターで知らせる機能です。設定時刻になると、1 分間ブザーがピピピピッと鳴り、シーケンシャルインジケーターが連動して 8 個全てが同時点滅します。
(設定した時刻にイグニッションキーが ON になっていないとアラームは鳴りません。)

ZD 操作

アラーム中にアラームを止めたい時は、左 SELECT または SET 右 ボタンのどちらかを押してください。
⇒設定方法については、8 -3-7. アラーム設定 [ALARM] 参照

※本製品の時計は 12 時間時計ですので 12 時間以内の設定しかできません。
アラーム機能は、設定後 1 回のみ有効です。アラーム機能使用後、再度アラーム機能を使用する場合は、再設定が必要です。

❾トラブルシューティング

⚠警告

❗異常を感じたら、必ず点検をしてください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

❗使用中、または設定・操作の段階でトラブルが発生した場合、下表を参考に確認してください。あてはまる項目がない場合、または対処をしても改善されない場合は、取り付けたお店・販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	対処方法
○動作しない。 ○電源が入らない。 ○アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯しない。	○電源ハーネスの配線が間違っている。 ○電源ハーネスのヒューズが切れている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。	○取付方法に基づいて、＋B、IGN、GNDの配線を確認してください。 ○配線を確認後、ヒューズを交換してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。
○アドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点滅する。	○配線のどこかにショートやオープンなどの問題がある。またはメーターに異常がある。	○取付方法に基づいて、配線とメーターを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
○エンディングモードを行わない。	○ +B の配線が間違っている。	○取付方法に基づいて、+B の配線を確認してください。 ○エレクトロタップの +B の配線部分を確認してください。 ○電源の配線を確認のうえ、販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。
○イルミを ON しても表示が減光しない。	○ ILM の配線が間違っている。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。 ○調光が MANUAL LEVEL:MAX に設定してある。 ○調光設定が AUTO で周囲が明るい。	○取付方法に基づいて、ILM の配線を確認してください。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。 ○使用方法に基づいて、調光設定を変更してください。

症　状	考えられる原因	対処方法
○センサーオープンまたはショート表示が出る。	○センサーやセンサーハーネスにオープンやショートなどの問題がある。	○取付方法に基づいて、センサー、センサーハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
○シリアルエラー表示が出る。	○ ZD とアドバンスコントロールユニット間で通信ができない。	○配線方法に基づいて、メーターハーネスを確認してください。原因がわからない場合は販売店または取り付けたお店に検査を依頼してください。
○エンジン回転数が正常に表示されない。	○エンジン回転数信号の配線が間違っている。 ○気筒数設定が間違っている。	○ Web サイトの適用車種検索に基づいて、配線を確認してください。 ○本取扱説明書の車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線方法に従って配線確認をしてください。 ○ご使用方法をご覧になり、気筒数設定を確認してください。
○純正メーターよりエンジン回転数表示が少し低い。	○純正のタコメーターは実際のエンジン回転数より最大で 10% 程度高い場合がある。	○純正のタコメーターとの差が最大で 10%程度か確認してください。本製品は精度を最重視しているため、実際の値に対しほとんど誤差はありません。10%程度であれば正常です。大きく異なる場合は気筒設定を確認してください。
○車速表示が純正メーターと合わない。	○スピードパルスの取り出し位置の誤り。 ○スピードパルス設定が間違っている。	○スピードパルス取り出し位置を確認ください。 ○スピードパルス設定をやり直してください。
○システムセットアップできない。	○複数の ZD でディスプレイ No. が同じになっている。	○本取扱説明書に基づいてディスプレイ No. が同じにならないように設定変更してください。
○システムセットアップメニューを表示しない。	○アクティブディスプレイが設定されていない。	○本取扱説明書に基づいてアクティブディスプレイを設定してください。
○エンジン始動時、シリアルエラー表示が出て時計が 1:00 になる。	○バッテリーが弱っているため電源電圧低下が著しい。	○バッテリーを交換してください。

⑩補修パーツ

AD=ADVANCE System 専用

品番	補修パーツ品名
PDF09702G	取付ステーセット
PDF09705H	AD 車速・エンジン回転数信号ハーネス
PDF07708H	AD メーターハーネス　0.5m
PDF07809G	AD メーター付属品
PDF00703S	圧力センサー（油圧、燃圧共通）
PDF00903S	温度センサー（油温、水温共通）
PDF01103S	排気温度センサー
PDF01105G	排気温度センサーフィッティング
PDF08105H	AD 油圧センサーハーネス（3m）
PDF06603H	燃圧センサーハーネス（2.5m）
PDF05602H	油温センサーハーネス（3m）
PDF05603H	水温センサーハーネス（3m）
PDF06803H	排気温度センサーハーネス（2.5m）

※最新の情報は Web サイトまたはお客様相談室にてご確認ください。

⑪保守・点検・保証・アフターサービス

■保証書・保証規程について

本製品には本書とは別に保証書が入っております。また、保証書の裏面に保証規程を記載しております。本製品は保証規程の内容に従って保証されています。よくお読みになり、記入事項をご確認の上、大切に保管してください。保証書の提示がない場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

■保証期間

保証期間はご購入から **1 年**です。購入時、ご購入頂いた販売店が保証書に記載されていることをご確認ください。詳細は保証規程をご覧ください。

⚠本製品を使用されて発生した違反、事故等に関するもの、誤配線等、本製品の製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

⃠危険ですのでご自身では修理しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障・事故の原因となります。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後 **3 年間**保有しております。
（性能部品とはその製品の機能を保持するために必要な部品です）

■検査依頼について

取り付けた製品の調子がおかしい、または動作がおかしくなったと感じた場合は、お買い上げ頂いた販売店に検査をご依頼ください。Defi 製品は車両への取付・配線作業が発生するため、お客様からの直接の検査ご依頼は受け付けておりません。検査・修理は Defi 製品の販売店にご依頼くださいますようお願いいたします。

引っ越しや販売店の閉店等の理由により、お買い上げいただいた販売店に行くことができない場合はお近くの Defi 製品取扱店にご依頼いただくか、Defi お客様相談室までお問い合わせください。

❗検査を依頼される際には、製品の他に保証書とお客様情報を必ずご提示ください。

中古製品を購入しご使用される場合や、中古車を購入し取り付けられていた製品をご使用いただく場合は、必ず Defi で点検 (有償) してからご使用ください。また、５年以上ご使用になった場合も Defi で点検 (有償) してください。
取付後も製品本体、ハーネス、センサー部などを定期的に点検し、異常がないことをご確認の上、十分注意してご使用ください。

お客様情報

検査を依頼する際には、お店の担当者に以下のことをおことづけください。

1. お客様のご連絡先
郵便番号・住所：
氏名：
電話番号：
メールアドレス：
2. 購入店と取り付け作業先（連絡先）
3. 取り付けている車両の情報
車種：
年式：
型式：
エンジン型式：
排気量：
ギアミッション（MT/AT)：
リミッターカット　有　無
純正タコメーター　有　無
エンジン載せ換え　有　無
社外点火システムへの変更　有　無
ECU 変更　有　無
センサー取付方法：
その他の仕様：
4. お使いの Defi 製品 （検査依頼する製品以外にも取り付けている場合はその製品も）
5. 動作の状況 （いつ？何をしたら？どの製品が？何がどうなったのか？その後の状況は？）

■ラベルについて

製品に貼ってあるラベルは製品情報を特定するためのものです。
絶対に剥がさないでください。

■廃棄方法について

製品を廃棄する際は、廃棄物処理法ならびにお住まいの自治体のルールに従って処理してください。パッケージについてはリサイクルが可能です。（パッケージに記載されているリサイクルマークをご覧ください。）

デフィーリンクメーターアドバンスズィーディー取扱説明書

■発行　初版 2012 年 2 月　第 2 版 2013 年 9 月
■製造元　日本精機株式会社
■連絡先　日本精機株式会社 Defi お客様相談室
【住所】〒 940-2141 新潟県長岡市藤橋 1-190-1 R&D センター Defi
【電話番号】（03）3835-3639（Japanese only)
【FAX 番号】（03）3834-8116
【受付時間】10：00 ～ 12:00, 13:00 ～ 17:00（土・日曜、祭日、当社休日を除く平日）
【Web サイト】http://www.nippon-seiki.co.jp/defi/

Defi-Link Meter ADVANCE ZD Operation Manual

■ Issue　First edition: February, 2012　2nd edition: September, 2013
■ Manufacturer　Nippon Seiki Co., Ltd.
■ Contact Information　Defi, Nippon Seiki Co., Ltd.
【Address】190-1 Fujihashi 1-chome, Nagaoka-shi, Niigata 940-2141 JAPAN
【URL】http://www.defi-shop.com/

PAT No. 3019067　PAT No. 3019939

NIPPON SEIKI CO.,LTD.　'13.09-2